

今後の予定（再検討）と辻原のこれまでの研究の全体像

1. 講義の予定（再検討の結果）

（1）辻原の研究から（建築環境工学分野）

- 04月15日（水） 第1回目 ガイダンス
- 04月22日（水） 第2回目 辻原のこれまでの研究の全体像
- 04月29日（水） 祝日
- 05月06日（水） 第3回目 自修（発表準備）
- 05月13日（水） 第4回目 「ものさし」の話、その一部の「想像温度による「住みこなし」の診断」について
- 05月20日（水） 第5回目 「建築環境工学」から「建築環境学」へ-建築環境工学の新しい研究手法を考えられないか-

[概要] 辻原の研究を題材にどのように考えて研究を進めるか、どのように考えて進めてきたのか、を紹介する。

[準備] 特に必要はない。

[視点]

第3回目：これまでの様々な研究から何か一つの視点からのお話をつくれないか。その一部の想像温度の研究では常に「図」をいかに描くかを考えてきたので、それを紹介。

第4回目：従来の体系に疑問を持って試行錯誤して結局は上手くいかなかったことを紹介。どうしてうまく行かなかったのかまでは、追求できていないが。

※履修者が確定する04月22日以降は、居住環境学専攻の会議室での実施も可能。

（2）これまでの取り組みを用いた発表内容の図式化のトレーニング

- 05月27日（水） 第6回目 取り組み内容の発表と図式化（その1）
- 06月03日（水） 第7回目 取り組み内容の発表と図式化（その2）

[概要] これまでに取り組んだ卒業論文もしくは卒業設計について発表してもらった後、その内容を各自がペンで紙の上に図式化する。その後、完成した図を皆で見せ合い、どのように図式化すればよいか、どのような図が内容を的確に表すことができるか、などについて討論を行う。

[視点] 話の内容を「図」にすることを目指す。修士論文の執筆の際には、逆に図を書いてから

文書を書けるようになることを目標にする。

【準備】 卒業論文もしくは卒業設計の最終発表会などのスライドを用いて発表する。発表時間は自由だが、10分から20分程度か。新たにスライドを作成するところまでは特に求めないが、卒業設計の場合は、設計した作品そのものよりも、できるだけその前段階の「考え方」を話すようにして欲しい（スライドは同じでも、話し方を変える）。自分の発表をより理解してもらいやすくするための素材を準備することについては、全く問題はない。

※図式化にあたっては下方と次ページの2. を参照。

（3）辻原の研究から（建築史・都市史・領域史分野）

06月10日（水）	第8回目	建築史の分野から（樺太庁本庁庁舎に関する研究）
06月17日（水）	第9回目	領域史の分野から（沖縄の製糖業、領域史への展開）
06月24日（水）	第10回目	領域史の分野から（台湾の製糖業、新しい方法の模索）
07月01日（水）	第11回目	自修
07月08日（水）	第12回目	周辺の分野への展開（台湾の地方都市と地図）
07月15日（水）	第13回目	周辺の分野への展開（樺太の都市と地図）
07月22日（水）	第14回目	周辺の分野への展開（戦前期東京の火災保険地図）
07月29日（水）	第15回目	周辺の分野への展開（戦前期東京の火災保険地図、別Version）

【概要】 辻原の研究（主に講演時のスライド）を題材に、各自がペンで紙の上に図式化する。時間があれば、その後、完成した図を皆で見せ合い、どのように図式化すればよいか、どのような図が内容を的確に表すことができるか、などについて討論を行う。

【視点】（2）と同様に、話の内容を「図」にすることを目指す。修士論文の執筆の際には、逆に図を書いてから文書を書けるようになることを目標にする。

【準備】 参考文献や各種ホームページなどを参考に自分なりに図式化の方法を模索する。ただし、後述のように図式化が目的ではなく、あくまで考えをまとめるための手段である点に注意したい。

2. 図式化について

この講義で考える、論文の内容や説明のための図式化については、例えば、以下のような文献を参照。

ただし、図式化はあくまで手段であることに注意。自分の考えを明快にまとめることこそが重要。図式化の方法を勉強したいのではない点に注意。

主にビジネスシーンでの図解

- [1] 『なんでも図解 絵心ゼロでもできる！ 爆速アウトプット術』（日高由美子，ダイヤモンド社，2020年9月，1,600円＋税，ISBN：978-4-478-11024-9）〔和書（2F），336.55||H 54，0000390811〕
- [2] 『ビジュアル思考大全 問題解決のアイデアが湧き出る37の技法』（三澤直加，翔泳社，2021年2月，2,000円＋税，ISBN：978-4-7981-6507-3）〔和書（2F），141.5||Mi 51，0000390311〕
- [3] 『武器としての図で考える習慣 「抽象化思考」のレッスン』（平井孝志，東洋経済新報社，2020年7月，1,600円＋税，ISBN：978-4-492-04668-5）〔和書（2F），336.2||H 64，0000394566〕

グラフィックレコーディング

- [4] 『描いて場をつくる グラフィック・レコーディング 2人から100人までの対話実践』（有廣悠乃，学芸出版社，2021年7月，2,600円＋税，ISBN：978-4-7615-2776-1）〔和書（3F），809.6||A 71，0000394481〕
- [5] 『はじめてのグラフィックレコーディング 考えを図にする，会議を絵にする。』（久保田麻美，翔泳社，2020年8月，2,000円＋税，ISBN：978-4-7981-6488-5）〔和書（3F），809.6||Ku 14，0000394560〕

もしくは，以下のようなサイトを参照。「」内の語句をキーワードとして検索すればサイトに行き着くことができる。

- ・「コンセプトマップ」，「マインドマップ」，「概念図」，「システム開発地図」などのキーワードで検索できるサイト（特定のサイトというわけではなく，様々なサイトあり。）
- ・「えがこう！」→動画もあり
<https://egakou.com>
- ・「ダイヤモンド・オンライン」内で「日高由美子」で検索
<https://diamond.jp/ud/authors/5f505fb4776561133b010000>
- ・「東洋経済 ONLINE」内の「平井孝志」
<https://toyokeizai.net/list/author/平井+孝志>

補足

「フィールドワークとハラスメント」（必見のサイト）

<https://safefieldwork.live-on.net/category/story/>